

感想や振り返りを仲間と共有し、対話的に学ぶ

グループリフレクション (ぐるり)

評価基準



学習者と一緒に

知識
技能

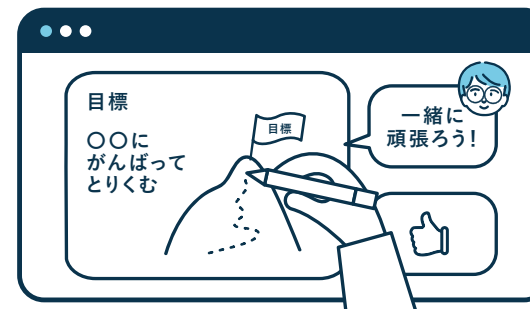
思考判断
表現

学びに
向かう力

概要

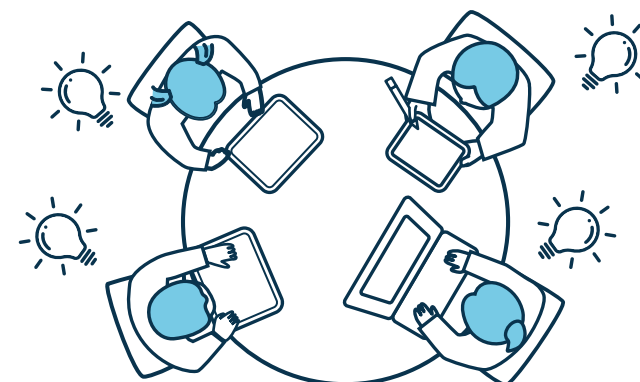
授業の最後に振り返りを記入し、次時の冒頭でキャンバスを共有する活動を繰り返します。
自分や友達のいいところに気づいたり苦手を解決するヒントを共有し合ったりすることで、思考が深まります。

目標や反省を宣言し、仲間と共有する



導入効果

- 1 皆で一緒に取り組んでいるという実感が得られ、学びに向かう原動力になる
- 2 自分の視点だけでなく、仲間の感想や振り返りの視点を学ぶことで、視野が広がる
- 3 学習者も教員も、ポートフォリオから活動履歴をいつでも確認できる



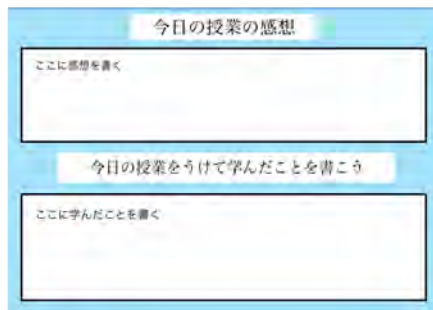
実施STEP

STEP.0

振り返りキャンパスの作成

教員

授業ごと・単元ごとなど、活動に応じた振り返りキャンパスをスクールタクトで作成し、配布する



STEP.1

振り返りの記入

学習者

わかったこと・わからなかったこと・感想・気付き・疑問などについて、授業の終わりの5分間で記入する



STEP.2

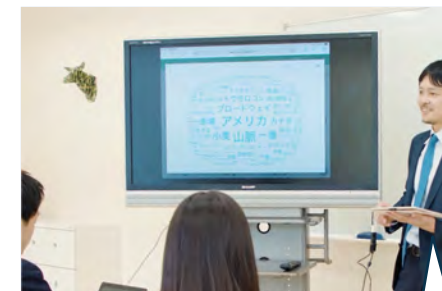
振り返りの提示・共有

教員

次の授業の導入5分間で、共同閲覧モードにする

学習者

お互いの振り返りを閲覧し、いいねやコメントをし合う



ワードクラウド機能を用いると、前回の授業で重要なキーワードを確認できるため、前時の復習ができます。

小学校や高校、大学での活用事例

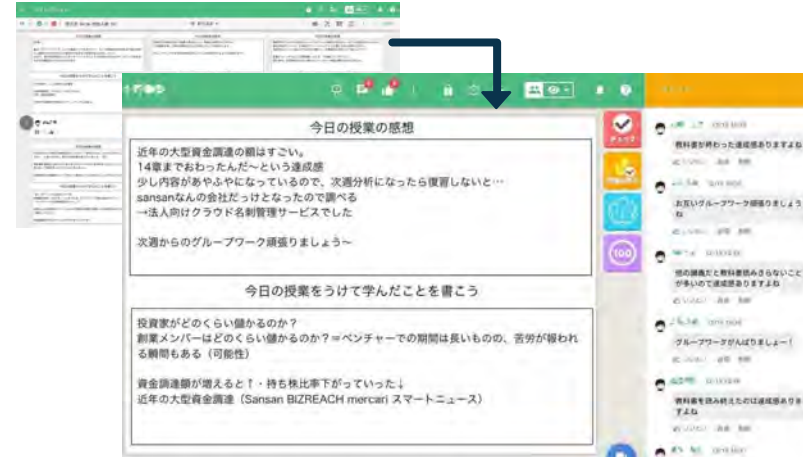


取り組み概要

定期的に行う単元や漢字テストについて、終わって提出した学習者からスクールタクトに自己評価を記入します。

効果と工夫

瞬時にお互いの記入を閲覧・コメントでき、毎時間の振り返りに対するハードルが下がりました。よく使うものはテンプレートにして保存しているので、配布にも手間がかかりません。



取り組み概要

授業の感想や学んだことを、授業の最後の5分で記入します。次の授業の冒頭5分で、協同閲覧モードにして見合いながら教員が良い感想をピックアップして前時の復習をします。

効果と工夫

周りの学習者の書き込みを見て、自分が気付かなかった読解の視点や問題の解き方、取り組み方法に気付くことができます。